



令和4年9月号



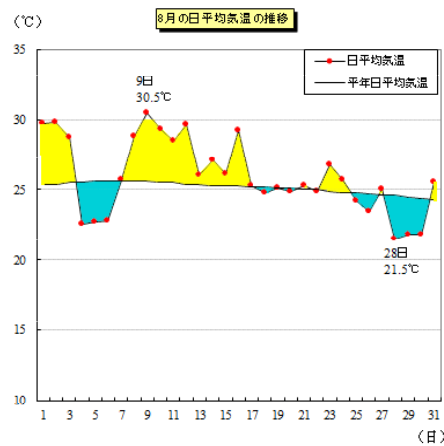
空にマークが

令和4年8月19日空に何か現れるとの情報から、13時前に屋上に観測に行きました。市役所から東の空に、ニコちゃんマークがあらわれしました。エアレースパイロットの室屋義秀さんが、飛行機を使って描いた物だそうで、この日は県内各地で描き、日立市上空が最後のようでした。



8月の気候

8月ははじめ太平洋高気圧に覆われ気温が高く、後半は、周期的に前線が通過し、北の高気圧に覆われる時もあり、気温が年平均並みから低くなったため、月平均気温は25・9℃と年平均並となりました。猛暑日の日数は4日と8月として多い記録1位タイでした。降水量は平年の82%の99・5ミリ、月合計の日照時間は平年の80%の137・1時間でした。



1カ月予報(気象庁発表)

9月は雲が広がりやすく、雨の日が多い予想です。気温は、はじめ平年並みか高く、後半は高いため、月平均気温は、「高い」、降水量、及び日照時間も「ほぼ平年並み」の見込みです。

ホームページ3

ホームページの紹介、今回はトップページについてです。トップページは、天気相談所のアドレスをいれると最初に表示されるページです。このページだけでも予報や観測結果を見ることができるようになっており、さらに詳しい内容へのリンクの役割も果たしています。

上部には写真や画像が入れ代わり表示されていますが、これらの画像もリンクとなっており、また、表示時点での最新の観測データを、市役所観測所は写真の下に、真ん中あたりには、市内の各観測所のデータがあります。表示されている時刻が古い場合は、再読み込みすると更新されます。天気予報の下には、日立市に発表されている警報・注意報が表示されます。観測データや警報・注意報は、自動処理により最新のものが表示されますが、観測機器の故障により異常な値が表示される場合や、データが更新されない、注意報や警報が表示されないなどが起こることがあります。注意報や警報については、気象庁ホームページへのリンクがありますので、必要に応じて活用ください。

天気用語の基礎知識

指定河川洪水予報3

「氾濫注意情報」とは、氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合に発表される。日立市が関係する「久慈川氾濫注意情報」の場合、榑橋水位観測所の水位が氾濫注意水位(3・7m)を超え、さらに水位の上昇が予想されると発表される。警戒レベル2に該当する情報で、注意報級の情報である。(水位は令和4年9月2日現在の値)

神峰の山から

8月に入ると、夏休みの自由研究のための、見学や質問が多くなりました。毎年あった、自由研究の見学所がありませんでした。今年は、新聞記事になったりなど、宣伝効果もあったためか、久しぶりに多くの方が訪れました。質問の内容も、台風のできかたや、雲についてなど、理科的な内容の方と、市役所で天気予報をやっている珍しい施設を紹介するという社会的な内容と、大きく二種類あります。皆さん一生懸命に質問したり、メモ書きしたりしていたのがとても印象的でした。私の子ども時代とは比較にならないくらい頑張っていました……。